

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 **マスタープラン**： **3つの挑戦** / 施策番号

局・課名： 建設局・河川水路課

事業名	内川排水機場維持管理	事業費(千円)	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額	
			119,550	122,103	122,742	
【目的】 二級河川内川の河口部にある内川排水機場には、満潮等の水門閉鎖時における雨水を排水するためのポンプ施設が設置されている。当施設において正常なポンプ運転操作ができる状態に維持することを目的とする。 【内容】 ・ポンプ施設点検業務においては、排水ポンプを常に運転できる状態に保つために、年点検1回、月点検6回の保守点検業務を行う。 ・設備更新整備工事について、内川排水機場は設置から30年以上経過しており、長寿命化計画に基づき、補修・整備及び更新を行うことで施設の延命化を図る必要があるため機器整備を行う。 ・耐震性能照査においては、河川構造物の耐震性能照査指針(国土交通省)に基づき、機場本体及び基礎について、液状化を考慮した照査を行う。 ・アスベスト調査においては、堺市公共建築物におけるアスベスト含有建材の点検マニュアルに基づき、機場の石綿含有調査を行う。 【設置年度】 昭和60年度 【設備内容】 ポンプ:3台 発電機:1台 除塵機:3台 他 【排水能力】 1号ポンプ:120m ³ /min (φ1000mm) 2号ポンプ:390m ³ /min (φ1650mm) 3号ポンプ:390m ³ /min (φ1650mm) 【今年度要求のポイント】 平成30年度は機械設備の整備を行う。機械設備については、経済的期待寿命40年を設定している。故障発生率を低減させる為の分解整備工事を行い、更新時期を迎えるまで使用する。また、今回の整備は、軽微な故障が発生している1号電動機等を整備する。	債務負担行為 期間 H ~ H 主要要求内容 (単位:千円)					
	項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等		
	ポンプ施設点検業務	6,080	5,000			
	設備更新整備工事	63,000	40,000	電動機		
	施設運転管理点検業務等	48,963	51,700			
	耐震性能照査		15,000			
	アスベスト調査		1,000			
	排水機場設備更新詳細設計		5,000			
	その他(燃料費、修繕料等)	1,450	2,192			
	光熱水費	2,610	2,850			
合計	122,103	122,742				
スケジュール(経過及び今後展開)						
【経過(～29年度)】 ・H25～28年度高圧盤7面更新 ・H26～27年度ポンプ補助継電器盤5面更新 ・H27年度発電機用発動機の整備 ・H28年度ポンプ用低圧配電盤更新 ・H29年度ポンプ用機械設備の整備		【30年度】 ・1号排水ポンプ用原動機整備 ・その他		【今後予定(31年度～)】 平成31～32年 ポンプ施設予防保全(更新・整備)		
その他 特記事項						
みんなの審査会対象外						
施設設置後約45年後(平成42年頃)から設備・施設全体の改修工事が必要。						